

タウントーク あなたの街で 市長と語るう!

スローフードとは、
質の良い食文化を守り、食の楽しみを知ろうと、
イタリアで始まった運動。
スローライフとは、
「スローフード」の考え方を踏まえ、より自然と
調和したゆとりのある生活様式(ライフスタイル)の
こと。

市民が主役! みんなで取り組むまちづくり

8月7日、札幌サンプラザで行われた北区タウントークでは、北24条地区で食と花のまちづくりに取り組む「スローライフイン24」の活動を題材に、今後のまちづくりについて話し合いました。実行委員長の小泉さん、フラワー部会長の宇野さんを壇上に迎え、市長との意見交換を行いました。また、出席した市民からも活発に意見が出されました。

11月のタウントークは手稲区で開催します。

タウントークに関するお問い合わせは、区役所(14ページ)の総務企画課が市民の声を聞く課☎211-2042へ。内容は、市長のホームページ<http://www.city.sapporo.jp/city/mayor/>からもご覧いただけます。

スローライフイン24

フラワー部会長 宇野俊光さん

「花一輪で広がる駐輪の輪」というキャッチフレーズで、花植えと放置自転車対策に同時に取り組んでいます。花植えについては200~300人ほどの人たちに協力をいただき、また公園緑化協会から苗付きのプランターを借りることができました。今まで役所に対しては苦手意識を持っていたのですが、議論を重ねるうちに「力になってくれるな」と感じるようになりました。たくさんの方の力で今の花があるのです。放置自転車対策については、「駐輪禁止」と固い言葉を使うのではなく、川柳の看板を立てて、放置しないように呼び掛けています。

スローライフイン24

実行委員長 小泉詔信さん

今日、会場前の広場でやっているお祭りは、5年前から行っているものです。町内会や商店街、料飲店など、みんなで何かできないかと考えて始めました。今年から始めた「スローライフイン24」という取り組みは、スローフードや地産地消の考えから「食」、街をきれいに飾ろうということから「花」、この2つを柱にまちづくりをすることに。そのような思いを込めて「スローライフイン24」という名にしました。「24」という言い方は、若い人たちが「北24条」をそう呼んでいるので、こうした若い感性も取り入れようと考えて決めたものです。

今回のお祭りでも、北海道大学の学生の皆さんの知恵と力を借り、一緒に手伝ってもらっています。また、花植えの時には区の土木センターの職員がプランターのための台を作ってくれ、私たちと一緒に取り組んでくれました。

市長から

大変おもしろいお話をありがとうございます。これまでバラバラにやっていたものを、みんなで新しいお祭りをつくっていく——みんなこの街のメンバーなんですよ。地域の中で、個人の特技を生かして補い、助け合う、こんなまちづくりが一番すてきだなと思いました。放置自転車について、ただダメだと取り締まるのではなく、川柳の看板で啓発するのは柔軟な考え方でおしゃれですよ。お話の中で、初めは市の職員と意見の相違があったが、それを乗り越えてきた、というものがありました。私も最初、市の職員は決められたことだけをしているのではと思っていましたが、市役所に入ってみると、みんな一生懸命やっています。それを分かってくれていないのです。思いどおりにいかず時間のかかることでも、みんなで工夫すれば何とかかなる。今回の企画が、それに気付くきっかけになったら、地域の方だけでなく職員にとってもすごく重要な、うれしいことだと思います。

北海道芸術デザイン専門学校

三浦幸太郎さん

会場にある壁画をボランティアで制作しました。「緑ともっと触れ合えば、人の心にもゆとりが生まれ、良い街になるのでは」という思いを込めています。

それぞれの立場の持ち味を生かしたまちづくり